

事業評価シート

事務事業名	学力定着度調査	担当課名	学務課
総合計画の主要施策名	「確かな学力」を身につけた子どもの育成	事業コード	4222

事業の目的	「確かな学力」を育成し、個性と創造力豊かな児童生徒を育成する。			
事業の内容	基礎学力の定着度調査、学習を計画的に進めるための客観的資料となる検査を行う。			
事業の対象	学力検査(国語・算数)・・・全小学校第1、2、3学年 知的発達検査・・・全小学校第2、5学年 全中学校第1学年			
事業費	年度・区分	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算
	金額	543 千円	545 千円	595 千円

事業の効果等	<p>各小学校において第1、2、3学年に学力検査を実施し、児童の学習状況に応じた指導を行うことができた。</p> <p>また、各校において小学校第2、5学年及び中学校第1学年に知的発達検査を実施し、学習を計画的に進めるための客観的資料として活用した。</p>
--------	---

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明及び考察	町民の学校教育及び児童生徒の学力向上への期待は非常に大きい。本事業の実施により、各校において児童の学習到達度及び課題を分析し、個に応じた指導に取り組み、基礎学力の向上に成果を上げることができた。平成23年度においても、基礎学力の定着を図り、児童生徒の発達に応じた指導に期するため本事業を実施する。			
事業の方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	----------	--------	-----------